

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA

MELDIA | 2019 NOV. VOL.23

月刊MELDIA VOL.23 2019年9月25日発行(毎月1回25日発行) 第23号 通巻23号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE

大矢真那による取材

ゆめファーム×大矢真那

布施博による取材 布施博が訊く

社会福祉法人すてっぷ×布施博

MELDIA Café

第4回 MELDIA Café開催

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

水越けいこの「M size / はじまり」

社会福祉法人探訪

一般社団法人 徳栄会 / わくわーく

月刊メルディア
VOL.23

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA
GROUP

同じ家は、つukらない。



メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計
〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F

メルディアグループ
公式インスタグラムアカウント
完成事例公開中! 「#メルディアグループ」で検索
[@meldia_group](https://www.instagram.com/meldia_group)



城田優さん出演
TVCM放送中!



障がいのある人たちに向けた 就労機会の拡大だけでなく 地域に必要な農業の担い手も 育成する「ゆめファーム」

株式会社パソナハートフルゆめファーム／千葉県流山市

総合人材サービス大手・パソナグループの障がい者雇
用については本誌でも過去に何度か取材を重ねてきた。
その一つ、障がい者雇用専門の特例子会社のパソナハ
ートフルが運営する農園が今回の取材の舞台だ。
人に優しく、無農薬・有機の地球にも優しい野菜・果
物などを栽培しているという菜園。
そこでは自然を相手とした、時には過酷さを伴う作
業がありつつも、農業が衰退する中で変わっていったし
まう地域の社会・景観を守る次世代の担い手が生まれ
つつある。
「ゆめファーム」で農業指導者の川名元治さんに、大
矢真那が話を聞いた。



ゆめファーム
千葉県流山市野々下2-652-1
<https://www.pasona-heartful.co.jp/activity/yume-farm/>



将来は「プロの農家」を志す
本物の人材を育てるファーム

大矢 こちらの農園では、農業を通じた障がい者の就労支援を行っているということですが、主にどこで活動されているんですか。

川名 現在、千葉県内では八千代市と流山市で「ゆめファーム」を運営しています。「ゆめファーム八千代」は社会福祉法人みのりの会「ビック・ハート」との共同事業を、「ゆめファーム流山」は流山高等学園親の会「KYOOKUクラブ」との共同事業として流山市と柏市に2拠点を構えています。

大矢 ここ(柏市)の農園には何名くらいの利用者さんがいるんですか。

川名 平均6名くらいです。その他に、これから農業を始めようという人が来ることもあるので、多くても10〜11名くらいですね。

大矢 それほど多くないんですね。運営は少数でも大丈夫なんでしょうか？

はどんなものを栽培しているんですか？

川名 まずは、「長ネギ」です。長ネギは収穫時期が長いので年間を通して作業があります。それと、今の時期だと「ブルーベリー」と「梨」ですね。あとは、「ひまわり油」を絞るためのひまわりの栽培です。

大矢 「ひまわり油」って、どういった用途で使われるものなんですか？

川名 一般の食用油と同じように料理にも使えます。購入される人たちの中には、化粧品代わりに肌の保湿を目的として使う人やヘアオイルとして使う人もいます。

大矢 肌や髪にも使えるんですね。
川名 植物性オイルってヴァージンオイル(一番搾り)に近いほど人間の肌に優しいとも言われています。しかも化学溶剤(化学原料)や食品添加物を一切使わずに製造しているということで安心して購入されるよつです。

大矢 1瓶分の「ひまわり油」を絞るのに何株の



大矢 真那
おおや まさな

川名 元治さん
かわな もとほる

株式会社パソナハートフル
ゆめファーム 農業指導者



アート村OnlineSHOP
<https://www.pasona-heartful.co.jp/art-mura/>



川名 「農業の担い手」となるべく、農業を学んで将来的にはプロの農家になろうという人が多いからかも知れません。

大矢 ここでの作業内容を教えてください。

川名 地域の農家さんから仕事を依頼して貰って、それに対応する作業を行っています。作業内容が予め決まっているわけではないんですね。その依頼に応じた仕事(作業)を覚えることが中心になってきます。

大矢 そうすると、常に新しいことを覚えていかなくてはならないわけですか。

川名 そうです。しかし、農家さんの中にはイチから説明しないで言葉を端折ってしまう人もいます。そういう時は、「分からないことがあった時は、農家さんたちの真似をして下さい」と指導しています。作業から帰ってくると、その農家さんの真似をし過ぎて、喋り方も農家さんに似て来てしまっただなんていうこともありました。

大矢 自然が相手の農業だと就業も決まったタイムスケジュールというわけにもいかないでしょう。

川名 2時間の作業を1日に3回やって、施設に帰ってから記録を残す、という基本的な流れはあります。でも、収穫作業ともなると、朝の3時から4時くらいから仕事になることもあるんです。その場合、前日から施設に泊まり込みということもあります。

大矢 農家から依頼される作業の他に、農園内で

ひまわりが必要なんですか？

川名 1瓶(135g)を作るのに40株くらいのひまわりを使いますね。

大矢 えーっ！ そんなに多くのひまわりが必要になるんですか！

川名 年間でおおよそ500瓶を製造しているので、2万株ものひまわりを必要とします。

大矢 だから農場にはひまわりがいっぱい植えられていたんですね。「ひまわり油」はどっやって作るんですか？

川名 まずは、収穫したひまわりを乾燥させて、その種から「低温圧搾」という方法でオイルを抽出します。一粒の種から得られるオイルの量は非



一般財団法人メルディア

MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は設立2周年を迎えることができました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2019年9月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対するの支援を行っています。



ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

■ 財団概要

名称 一般財団法人メルディア
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)
設立者 小池信三
設立日 2017年5月23日

01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにも紹介していますので、是非そちらも併せてご覧ください。



05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧のうえ、ご応募ください。



障がい者を応援 ゆめファーム

川名 「共生の場を作ろう」というのが当社の社長の言葉なんです。誰かが誰かのために何かを「してあげる」のではなく、「共に生きる場所を創ろう」というのがパソナの考えの中にあります。当社の本体が人材サービス会社ということもありますから、人を活かせる場所を開拓し、障がい者雇用の中でも、個々の人が出来ることを追求しようということも様々な職種に向き合っているという事なんだと思います。

大矢 こちらの「ゆめファーム」も含めたパソナグループが障がい者雇用で積極的に取り組んでいる理由とは何だと思えますか？

川名 「共に生きる」場所ではなく「してあげる」場所ではなく「共に生きる」場所ではないので、希少価値は高いと思います。大矢 とここで生産されたものは主にどこへ出荷されるんですか？



伴って耕作放棄地が増えて行くとも言われています。それらを少しでも食い止めるべく、障がいのある人たちが担い手となって共に地域を守っていくような形を取れば、と考えています。障がいがある人たちが、周囲から必要とされる経験が少なかつたと思うんです。地域の人々から「あなたはここ(地域)に必要だ」と言われて貰えるような人になる手助けを私たちが出来たら良いなと思っています。



PASONA HEARTFUL

株式会社パソナハートフル
東京都千代田区大手町2-6-2
TEL / 03-6734-1093
https://www.pasona-heartful.co.jp/



取材当日、「ゆめファーム」の広大な農園内には大輪のひまわりが幾重にも咲いていました。その景観に目を奪われましたが、このひまわりは「ひまわり油」を搾るために育成されているのだと聞きました。農業に従事して多種の農作物を育てるには日々の作業で手間を掛けてあげることがとても重要なのだと思います。農業を学ぶこと、地域の人たちと一緒に作業に従事すること、これら全てが将来の地域の担い手を育成することでもあり、川名さんは言いました。「地域で(社会で)必要とされる人材を育成すること。これは人材サービス会社ならではの素晴らしい考え方だと思いました。」取材/大矢真那

MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



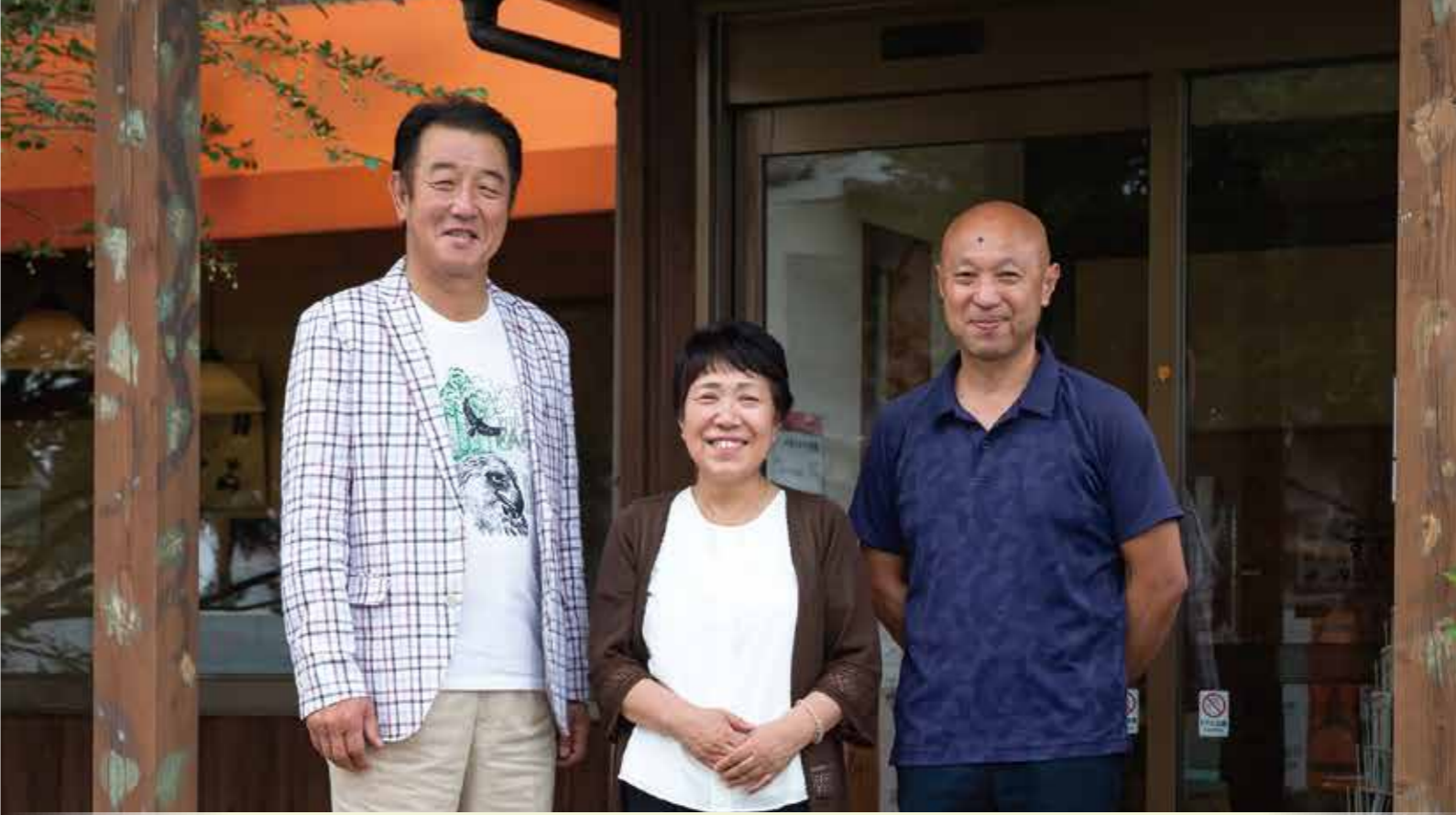


布施博
ふせひろし



ボランティア活動から始まる 「あったらいいなをカタチに」

布施 ボランティア活動を始まりとして設立された社会福祉法人だそうですね。
鈴木 86年に「おもちゃの図書館」をボランティアで始めて、そこからいろんな活動を経て現在のようになりました。
布施 「おもちゃの図書館」というのは？
鈴木 障がいのある子どもたちにおもちゃを貸し出すという活動でした。群馬町(現・群馬県高崎市)にある公民館を借りて、月に2回開館していました。
布施 なるほど。おもちゃを子どもたちに貸し出すという発想は面白い。そのボランティア活動が次に繋がるわけですか。
鈴木 そこを始めて5年くらい経った頃に、ある



布施博 × 社会福祉法人すてっぷ 群馬県前橋市

障がいの当事者と家族の 「あったらいいな」に答えて 事業と施設を続々と 「カタチ」にして行った福祉法人

読者の皆さんは「ノーマライゼーション」という言葉をご存じだろうか？
その言葉の意味を「ノーマライゼーションとは当事者の権利でありそれを表現するのが社会の責任である」と定義するのが社会福祉法人すてっぷの理事長・鈴木隆子さんだ。
遡ること30年以上前の86年に、障がいのある子どもたちにおもちゃを貸し出す「おもちゃの図書館」のボランティア活動を始まりとして、現在では多くの福祉事業所を展開するまでになっている。
社会福祉法人すてっぷで同法人の設立から現在に至るまでを布施博が訊いた。



お母さんから「障がいのある子どもを持つ親に向けた講演会があるのだけれど、子どもがいるから行けない」という話を聞きました。「私たちが子どもを預かるから講演会を聞きに行つて来たら？」と勧め、子どもを預かつたんですね。そのお母さんは2時間ほどしてから充実した顔で戻って来られました。その時に、「障がいのある子どもが学校に行くようになってからも、ご家族も大変な思いをしているんだなあ」と思ったんです。
布施 ああ、そうか。障がいのある子どもを持つお母さんたちの中には「自由に出掛けられない」という悩みを持っている人もいるのか。
鈴木 「他の子どもの授業参観に行くことができな」だとか、「近所の冠婚葬祭の手伝いにさえ行けず」に肩身が狭い思いをしている」という話を聞くこともありました。
布施 例え数時間でも、障がいのある子どもを預かつてもらえたら、その時間で用事を済ますなり何なりが可能になるわけだ。それはお母さんたちも喜ぶますよ。

鈴木 「おもちゃの図書館」の開館日の週に2回だけだったんですね。「開館日以外でも子どもを預かつてもらえる所があったら良い」とか、「養護学校(現・特別支援学校)から帰って来た子どもたちが放課後に安

社会福祉法人すてっぷ理事長
鈴木隆子さん
すずきたかこ



心して遊べる場所が欲しい」という声が多く挙がつて来るようにもなりました。その要望に心をこめて作ったのが「OPEN HOUSE すてっぷ」でした。
布施 福祉法人の名称もそうですが、「すてっぷ」と名付けた理由は何ですか？
鈴木 ボランティア活動から福祉活動へと「一歩進んだ」という意味がまず一つ、「一歩一歩できることから」という思いも込めています。それと、小学校の理科で習つた「気候区分」の中に「ステップ気候(※)」というのがあるんですが、それが表す「原っぱ」「みだいな、みんなが集まれる場所」になつたら良いなという気持ちを込めて「すてっぷ」と名付けました。

※ステップ気候/ドイツの気候(気象)学者・ケッペンが植生分布に着目して考案した「気候区分」のうち「丈の短い植物が生える草原地域」指す





社会福祉法人すてっぷ総務部長
新井 亘さん
あらいわたる



布施 大学では何をやっているんですか？
新井 学生食堂、カフェ、購買(売店)の運営、学内清掃を請け負っています。
布施 「障がいのある人たちが働いている」ということに対して、学生さんたちから何か反応のよいなものがありますか？
新井 大学の中に投書箱が置いてあるんですが、ある時の中に「暑い日も寒い日もきれいに掃除をしてあげてほしい」という投書が入っていたと大学の職員が教えてくれました。
布施 それは嬉しいよね。きちんとした作業をやっているからこそ意見だね。これまでの取材の中で、自治体が障がいのある人たちが働く場所を提供しているという例なんかも見て来たけれど、地域の人たちと触れ合う機会を作ってあげることが障がいについてを理解することにも繋がるんじゃないかな。



鈴木 障がいのある人の「自立」という部分に言及すると、「一人で暮らしたい」とか、例えば重度の障がいがある場合でも「自分の好きなことをやりたい」という希望を持っている人がいるんですね。それらの希望を出来る限り叶えるための支援ができれば良いなと思っています。



鈴木 そうですね。それが「ノーマライゼーション」ということなんですよ。
布施 いろんな活動をしたりとか、多くの福祉事業を運営されて来たと思うんですが、この先に向けての展望などを聞かせてください。



社会福祉法人 すてっぷ
群馬県前橋市東上野町136-1
TEL / 027-290-6161
<https://s-step.com/>



自身と仲間とで始めたボランティア活動に端を発して、いつしかそれが事業となり、「障がいのある人たちとその家族の希望を叶えたい」という思いが後に多くの施設を運営するまでになった社会福祉法人すてっぷ。
同法人の軌跡を著した本「あつたらしいなをカタチに」の序文に「一人ひとりが自立し、人生において喜びや感動を得られること、それがすてっぷの願いです」とある。
例え、時代の趨勢や社会の情勢が変遷しようとも、この理念だけは設立時から現在まで変わらず、ノーマライゼーションが実現される未来、ノーマライゼーションという言葉自体がなくなる日まで継承されて行くだろうと思う。

取材/布施博

布施 利用者は全部で何人くらいですか？
鈴木 ここ(わーくはうす)すてっぷには30人くらい、他の施設を合わせると通所だけで100人前後ですね。
布施 さっき、施設の中を見せてもらったんですが、いろんな事をやっていますね。
鈴木 パンの製造と販売、陶芸、パソコンを使った作業などもやっています。
布施 福祉事業の種類も施設も複数あるようですが、なぜ現在のように多く展開するようになったんですか？
鈴木 私たちには、障がいのある人たちが地域社会の中で「普通に働くこと」「普通に暮らすこと」「普通に楽しむこと」を支援していきたいという願いがあります。それが果たされてこそそのノーマライゼーションだと思っんですよ。利用者さんや、そのご家族と話をしていて「こういうのがあったら良いなって思えることがあると、実現可能な範囲で「やっちゃおう」ってなるんですね。
布施 いやあ、簡単に言うけれど、さぞかし大変だったろうなあって思いますよ。



国産小麦を用い、添加物などを使用せずに製造されているパン。味も品質も「ホンモノ」だというのは一口で分かった。(布施博)

鈴木 ニーズに合わせて一つずつ増やして行ったら現在のようになったという感じですね。
布施 事業所の中には、全国平均の2倍くらいの工賃を支払っている所が2ヶ所あると聞いていますが、高い工賃を払うことができる理由は何ですか？
新井 前橋市総合福祉会館の中の「くらっば」と、群馬県立女子大学にある「びいす」のことだと思っています。「びいす」の場合は、他の(一般)の清掃会社を含めて5社による指名競争入札で獲得した仕事なんです。
布施 なるほど。求められる作業の内容や質に関しては他と同じだから、貰える金額も他の清掃会社とほぼ同じ、と。
新井 そうなりますね。
鈴木 一般の企業が受ける仕事と同じ条件でやらせて頂けるのはとても有難いことです。



Meldia Foundation 第4回「MELDIA Café」詳細

8月25日、本誌の発行元である一般財団法人メルディア主催による恒例のイベント「メルディアカフェ」が主婦会館プラザエフ(千代田区)で開催されました。

4回目の開催となる本イベントには、今回も多くの皆さんにお越し頂きました。学生の夏休み期間ということもあり、来場者の中には小さいお子さんも含めた若い世代の人たちの姿が多く見られました。

——さて、いよいよ開演です。今回のメルディアカフェは夏休みの特別バージョン。MCにお笑い芸人の「甘味処(かんみどころ)」を迎え、前回までとは趣向が変わっています。

タンクトップがチャームポイントでポケ担当・ちやーはん天野さん、対照的なスーツ姿でツッコミ担当・加賀屋歩(かがやあゆむ)さんの、個性豊かな二人組です。甘味処は、人気お笑い番組である『M-1グランプリ』への出場経験もあるぞう。甘味処による

お笑い芸人 甘味処

テンポの良いトークからイベントはスタートし、会場は一気に笑いの渦に巻き込まれていきました。そして、一般財団法人メルディア事務局 後藤正善による挨拶が始まりました。

まずは、メルディアカフェに足を運んで頂いた皆さんへの感謝が述べられ、「どうか皆さんにとって、有意義な楽しんで頂ける時間になれば嬉しいです」と締められました。

後藤の挨拶が終わわり、軽快な音楽と共に登場したのは大道芸人の「クラウンTOGA」さん。TOGAさんは、鍛え抜かれたパントマイムテクニックをベースに、ジャグリングやバルーンアートを取り入れた芸の持ち主で、テレビ番組や全国各地のイベント会場などで活躍している人気の大道芸人です。

登場するやいなや、巧みな話術と共にカラフルなバルーンを自在に操り、動物や人気キャラクターなどを次々に作り出すTOGAさん得意のバルーンアートが披露されました。

音楽に合わせて、軽快な手つきで繰り出されるバルーンアートはまさに職人技。「これは何でしょう?」



お笑いや大道芸を取り入れた
笑顔特化のメルディアカフェ



一般社団法人メルディア事務局
後藤 正善

と客席に質問するなど、楽しく盛り上げながら次々と技とアートを繰り出します。

完成したのは、とても可愛らしいパンダのリース。客席に居た小さい女の子にプレゼントされ、女の子は嬉しそうにそれを受け取っていました。

そして、次に披露されたのはクラウン(ピエロ)といえはこれ! という「皿回し」。客席の人たちの手を借りて皿を回すという演出を入れつつ、見事に技を披露してくれました。

TOGAさんのアクロバティックな技の数々に、客席の皆さんが惹き込まれていく楽しいパフォーマンスでした。

大道芸人
クラウンTOGAさん



一般財団法人メルディア主催
MELDIA Café

第4回「MELDIA Café」開催
笑いあり、笑いありの夏休み特別企画でお届け

一般財団法人メルディアは、人と社会と福祉を「つなぐ」活動を行っています。一般財団法人メルディアと本誌「月刊メルディア」の活動の一環として不定期開催されている「MELDIA Café」は、障がいのある人もない人も一緒に楽しめるイベントを毎回企画しています。「障がい」についての認知と理解を深め、読者の皆さんとの距離を縮めるべく開催された本イベントの様子を大橋はるかがレポートします。

取材と文／大橋はるか

Meldia Foundation 第4回「MELDIA Café」詳細



コミカルなコントと大道芸
会場は笑いの渦に飲まれる

休憩を挟み、会場内の和やかな雰囲気の中でMC・甘味処が登場。軽快なフリートークを交えながら第2部のスタートが告げられました。

MCの合図と共に颯爽と姿を現したのは、1部にも登場のTOGAさん。大好評だったバルーンアートを再び披露してくれました。更にパワーアップしたバルーンアート。TOGAさんの手から繰り出される芸術とも呼べるほどのバルーン作品の数々に会場内の全員が魅了されていました。

中でも印象的だったのは、カラフルな2匹のク



マとクマの間にハートが入った可愛いバルーンアート。それを客席にいた新婚だというご夫婦にプレゼントする演出もありました。とても感動的な演出で、観客の皆さんも、このご夫婦に盛大な拍手を贈っていました。

ここで再びMC・甘味処が登場し、オリジナルコント「告白を披露してくれました。甘味処の二人の友情を現したようなコントで、流行りのテレビドラマ「おっさんずラブ」のような予想外の展開もありました。天野さんの怒涛のボケに加賀谷さんのキレの良いツッコミが合ったり、客席から大きな笑いが起こっていました。

コントが終わると、弁護士の安部先生が再び登場し、法律に関する質問コーナーが始まりました。客席から寄せられるどの質問にも丁寧に回答する安部先生。一般的に、「弁護士」と聞くと硬いイメージがあります。しかし、安部先生の場合は、その受け答えや姿勢から真面目かつ法律の専門家としての意識の高さの中に、人あたりの良さまでが見て取れました。

安部先生による質問コーナーが終わり、いよいよ最後



弁護士によるトークショー
真剣に耳を傾ける来場者たち

一般財団法人メルディア事務局では、読者の皆さんや障がいのある人々のご家族が弁護士に聞きたいこと、相談したいことを本誌上で以前から募集しています。

そこで今回のメルディアカフェでは本誌の連載



表参道パートナーズ法律事務所 弁護士
安部 晃平先生

でもお馴染みの表参道パートナーズ法律事務所の弁護士・安部晃平先生、大矢真那さん、事務局・後藤の3者による掛け合いで「法律相談スペシャリスト」が行われました。

安部先生には「障がい者を取り巻く法律問題」について語って頂きました。また、大矢さんや客席の皆さんから出た相談や疑問を法務の専門家として分かりやすく説明してくれました。

印象的だったのは障がいのある人の親が亡くなった後の相続などの問題で、本誌の安部先生の連載でも何度か触れたことがある「成年後見制度」の解説でした。

安部先生自身も、過去に何度か成年後見制度についての相談を受け、実際に手続きを行った事があるそうです。先生の丁寧な解説には「困っている人の力になりたい」という弁護士としての熱い思いを感じることができました。

後藤 「成年後見制度」って聞いたことはあるんで



大矢 真那

すけど、どういう仕組みなんですか？

安部 簡単に言うと、知的障がいや認知症などで判断能力が著しく低い場合、ご家族や周囲の人が制度を用いて「後見人（本人の代わりに財産の管理をする人）」となり、ご本人の財産を守るための制度です。裁判所で後見人を決める手続きをして、選任してもらいます。

大矢 裁判をするんですか？

安部 恐らく皆さんがイメージする戦うような裁判手続きではなくて、あくまで専門的なお話をしてくれるので、（公的）な裁判所を通して選びましょうといった感じですね。

後藤 私たちが何か弁護士さんに相談したいと思っても、なかなか敷居が高い気がして、相談すること自体を躊躇してしまう事もあると思うのですが、大矢さんはどうですか？

大矢 何か心配事があっても、「弁護士さんに相談に行こう」とまで考えが至らない人が多いのではないのでしょうか。

安部 それは私もよく言われます。でも、相談する内容が明確になっている必要はなく、もっとラフに、不安に思っている事を率直にお話して貰えば良いんですよ。そのお話しの中から、法律という手段を使つて、私たち弁護士が何かお手伝い出来る事があるかもしれません。「こんな事を相談してもいいのかな？」だなんて思わず、もっと気楽に弁護士に相談して欲しいと思います。

を迎えます。大トリはTOGAさんによるバルーンアート教室です。客席の全員にバルーンが配られ、TOGAさんが丁寧に分かりやすくバルーンアートを作ると説明してくれました。初めて体験する人も多かったようですが、会場内ではTOGAさんのサポートを受けながら色とりどりのバルーンアートが完成しました。その出来栄を互いに見せ合うなど会場は大盛り上がりで大団円を迎えました。

盛りだくさんな内容をお届けし、好評のうちに閉幕した第4回メルディアカフェ。これまでとは趣向を多少変えた今回は、MCを務めてくれた甘味処の二人とTOGAさんが大いに盛り上げてくれました。

最後に、本イベントに参加して頂いた多くの観客のみなさんに感謝して第4回メルディアカフェのレポートを締めたいと思います。

取材＆文／大橋はるか



はじまり

水越けいこ連載

23



シンガーソングライター 水越 けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

日々の食事は成長と健康の源 食を大切と思う「はじまり」

ダウン症の息子・麗良(れいら)は27歳になりました。病弱で虚弱体質だった幼い頃に比べると、遙かに健康体となった事を如実に感じる事が多くあります。その一つは食事に關してのこと。今回は、暮らしの中で欠かすことが出来ない食事の話を書いてみたいと思います。

私は「食」にはとても関心があり、日々の食事をとても大切にしています。それはひとえに健康的な身体と心を維持するために重要な「食」であると考えているからです。

もちろん、息子が摂取する食事に対しても同じで、ヘルシーで栄養バランスの良い食事が摂れるように、と心掛けて来ました。

ある時、自宅での食事時間にマネージャーが来

響で十分な栄養を摂ることさえできない時代が長く続きました。「栄養バランスが良い食事を摂らせたい」という気持ちばかりが募る時代が長かったせいで、息子が成長して大きくなった現在でもその習慣が私から抜けなくなっていたのだらうと思っています。

息子がまだ身体が弱かった頃、彼の成長に対しての不安が私には常にありました。「どうか健康になって欲しい」ということばかり願っていたように思います。

その頃の私にもしメッセージを伝えることが出来るのだとしたら、「大丈夫。心配しないで。麗良は将来必ず健康になるから」と言っておきたいです。

息子と私の大切な「食事」という時間。この時間を愛おしく感じながら、これからも刻んでいければ良いと思います。

懐かしい街を訪れたある日に 素敵な女性と再会し思うこと

先日、都内のある街を車で通ることがありました。麗良が小学生だった頃、週に1回ほどの頻度で訪れていた街です。

信号待ちで停車している時にふと車外に眼を向けると、以前とはだいぶ変わった街並みがそこにはありません。

変貌を遂げた街並みの中に、そこだけ時が止まったかのように当時と何も変わらない趣きの店を見付けました。

そう、そこは昔、息子と私が何度も通ったレストランでした。せつかくだから寄ってみよう、とすぐ近くにあったコインパーキングに車を停めて

店へと向かいました。

当時、このレストランにはHさん(仮名)という女性がいました。

店内に入り、中を見渡すと昔と少しも変わらないうHさんがそこにいました。「いらっしゃいませ」とにこやかな笑顔でお水を運んで来たHさんでしたが、私には気づかない様子でした。

声を掛けてみようとも思いましたが、Hさんがもし私の事を覚えていなかったらと考えて躊躇しました。

コーヒーを注文し、昔と変わらない雰囲気の内、1時間ほど滞在して席を立ちました。

会計の時、レジの担当はHさんでした。レシートとお金のやりとりの最後に「あの、間違っていたら申し訳ないのですが、麗良くんのお母さんではないですか?」と聞いてきました。

息子と私のことを覚えていてくれたのが嬉しくなると、「Hさん! 覚えていてくれたんですね」と返しました。

「なんだか声を掛けられなくて、ごめんなさい」と謝る私に、Hさんは訝しそうな表情をしながら声のトーンを落として「麗良くん、お元気ですか?」と静かに聞いて来ました。

「はい! 麗良は元気です。もう27歳になりました」と私が答えると、さっきの怪訝そうな顔が一瞬で綻び、「小さい頃は決して健康な子ではなかったからずっと気にして心配していたの」と、笑顔でありながら瞳には薄っすらと涙を滲ませて、安



水越けいこ「僕の気持ち」絶賛発売中!





大学時代の経験をきっかけに人が喜ぶ仕事をしたと思う

編集部 設立されてから3年という新しい事業所だと伺っています。

川田 16年の5月に一般社団法人徳栄会を設立して、就労継続支援B型事業所わくわくの開所が同年の9月ですから、まだ3年位ですね。

編集部 事業所内での利用者の作業内容について教えてください。

川田 隣の市(群馬県太田市)に自動車メーカーの本社工場があって、この周辺には自動車部品製

造関連の企業が多くあります。その企業などから部品の加工作業を受託しています。それが基幹となる作業ですね。

編集部 なぜ自動車部品加工の作業を受託しようと思ったのですか？

川田 自動車つて年間の生産台数が予め決められているので、部品の供給数量も月単位で決まっています。それによって受託している私たちも、長期的で安定的な作業計画が立てられるということと、部品の加工は利用者さんの作業の進捗が分かりやすいということが理由です。

編集部 事業所内での作業の他に、除草作業なども請け負っていると聞きました。

川田 利用者さんの中には「事業所の中で作業をすることが苦手だ」という人や「外で身体を動かしたい」と希望する人もいますね。そういう人たちには、除草作業、竹林伐採、片付け、地域の農家さんから依頼された作業を担当してもらいうこともあります。

編集部 障がいのある人たちそれぞれの特性に



多くを経験させてあげることが
「可能性を探る」こと
 若い運営者と経営者らが考える
「地域との共生」とは



法人の設立からまだ3年という若い福祉系法人がある。法人の設立も若い、運営する理事や職員も若いのが「一般社団法人徳栄会／就労継続支援B型事業所わくわく」だ。

大手通信会社での社会人経験で得た知識、流通や経済の仕組み、コスト意識などを事業所運営に活かして作業効率の改革と工賃のアップに挑んでいるという。

障がいのある人たちと地域の人たちとの共生を模索し、地元ならではの「繋がり」を駆使しながら利用者の生活の質の向上を図っている。

設立後わずか3年で全国平均を大幅に上回る工賃が支払えるようになった理由、事業所設立の経緯を聞きに同法人を訪ねた。



一般社団法人 徳栄会
 就労継続支援B型事業所
わくわく 栃木県足利市
 栃木県足利市小俣南町41-10 TEL / 0284-22-4600



一般社団法人徳栄会
 就労継続支援B型事業所わくわく
 事業責任者
五十嵐 久枝さん
 いがらしひさえ

一般社団法人徳栄会
 就労継続支援B型事業所わくわく
 代表理事
川田 直嗣さん
 かわた なおつぐ



るようになりまして。
 瀬谷 家屋の清掃や周囲の片付けを依頼しました。いざ作業をやってもうと、仕上がりが想定以上のデキで、「また次回も彼らにお願いしたい」というお客さんもいました。
 川田 障がいのある人たちの特性などが作業内容に上手く合致していたようです。地域の人たちに必要とされるのは嬉しいことです。
 編集部 利用者の反応はどうですか？
 五十嵐 外での作業を担当する利用者さんの中に若い頃に就職をやっていた人がいます。現場に行くとも早く作業に着手して、他の人たちにも的確に指示を出してくれるんです。すごく周囲に頼られている感じで、自身もその事に対して



とても嬉しそうにしているんです。
 川田 これまでは、自宅と施設(事業所)の中だけが彼らにとっての「日常」で、作業をするためにいろんな所へ出かけること自体が「非日常」になっているようです。外に出て作業をすることを「楽しい」という人が多いですね。
 編集部 障がいのある人の中には家族から外出を制限されている人もいますと聞いたことがあります。五十嵐 障がいのある人が安心して出掛けられる場所がどこにあるのかを家族が知らないから外出を控えさせるといふ場合もあるようです。
 川田 自律的に外出できないというのが社会での経験が少ないことに繋がって行くと思います。いろんな体験や経験をさせてあげることでは分かれないことがあります。体験して初めて「どんな仕事に向いているのか」を自身に気付かせてあげること、職員の側も「どんな適性があるのか」を判断してあげることにも繋がると思っています。これからはいろいろな体験をしてもらえようになりたいと思います。



合わせて作業を振り分けていると？
 川田 そうですね。障がいの種別、個性や特性はもちろん、利用者さん本人やご家族の希望にも可能な限り応えられるように配慮をしながら担当を決めています。
 編集部 川田さんは以前、大手通信会社に勤務していたと聞きましたがそんな人がなぜ福祉事業所を作ろうと思ったのでしょうか？
 川田 大学時代に「スペシャルオリンピックス※1」にサポートメンバーとして関わっていました。そこで障がいのある人たちとコミュニケーションを交わすことか、例えば障がいのある人と手を繋いで一緒に走るとかを「楽しいな」って思っから、いつかは「誰かが楽しいと感じること」「嬉しいと思ってくれること」を仕事にしたいなと思いました。
 編集部 障がいのある人たちと触れ合った経験が後に福祉事業を始めるきっかけになったと？
 川田 そうなりますね。当時は漠然とした考えにしか過ぎなかったんですが、障がいのある人たちだけではなく、「周囲が喜んでくれる仕事をした」という気持ちは会社に勤めていた頃もずっと心のごとこにありました。

誠実実直に作業を行う人たちの成果は地域で評価を得る

編集部 施設の外での作業についても請け負っているとのことですが。
 川田 地元の先輩や同級生から依頼されて除草や片付けの作業をやらせてもらっています。
 編集部 依頼者側にお聞きします。なぜ「わくわーく」に仕事をお願いしているのですか？
 金子 地元で福祉事業所があることを知り、しかもそこは地元の後輩が運営していると。元々は学



生や高齢者に除草作業をお願いしていたのですが、「利用者さんたちに仕事を依頼できないかな？」と川田さんに相談したのが最初でした。
 川田 最初は依頼通りに作業の遂行が可能かどうか、不安な部分も多少あったのですが、「とりあえず一度やらせてもらってから考えよう」ということで、作業を引き受けました。
 編集部 やってらっしゃるのでしょうか？
 金子 引率する職員さんたちが指示する形で作業を進めてもらいましたが、満足する内容でしたね。それ以降、「わくわーく」さんに作業を依頼す



有限会社瀬谷新聞店
 代表取締役
瀬谷 直人さん
 せやなおと
<http://seya-mainichi.com/>



カネトモ代表
 遺品整理ルーム運営
金子 智昭さん
 かねこともあき
<http://ihinseiri-room.com>



※1・スペシャルオリンピックス/知的障がいのある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供する国際的スポーツ組織。
 ※編註/記事中の表現は取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

MOVE PROGRAM

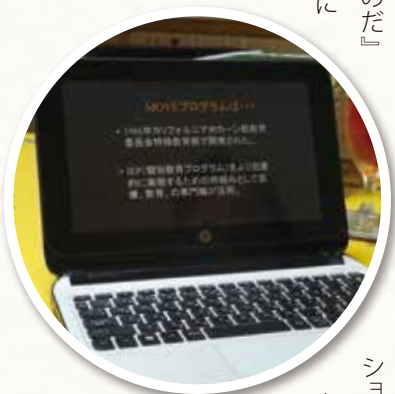
才能と才能を繋いだ出版社が
地方から発信する新しい価値

白崎さんが「遊びを育てる」の著者・野村さんと知り合ったのは20年くらい前、重度の障がいのある子どもたちの自立や地域参加を支援するためにアメリカで開発された教育プログラム「M.O.V.E.プログラム(※)」を日本に紹介する活動を始めた頃だとか。

このプログラムは、「どんなに重度の障がいがあったとしても、(その障がい当事者の)活動は保障されなければならない」という考えに基づいて、障がいのある子どもたちの生活年齢を考慮しながら、将来を見据えて必要な運動機能を教えていくというもの。

「病院や医療施設の中では訓練こそ行われていたが、『障がいのある子どもたちの活動を保障する』という考えが当時の日本にはまだ浸透していませんでした(白崎さん)。
その頃に、「遊びを育てる」の初版本に出会ったのだという。

「著書で『障がいのあることが問題なのではなく経験できないことが問題なのだ』と説く野村さんの言葉に、日本にもこんな医療専門職がいたのかと嬉しく思いました(白崎さん)。
そこから20年が経ち、絶版



「本の装丁を決める時に、真っ先に浮かんだのが清野ミナさんの作品でした。素晴らしい作品をいかに多くの人の目に触れるようにしようかと考えた結果でもあります(白崎さん)。
野村寿子さんと清野ミナさんのコラボレーションを実現し、障がいのあるアーティストの作品をより多くの人に知って欲しい」と記して本稿の取材後記したい。

WELCOME
那須里山舎

「遊びを育てる」の版元
栃木県大田原市

中央にはない価値を
地方から発信する
那須の里山にある
小さな出版社の試み



株式会社那須里山舎/取締役
MOVEインターナショナル日本代表
白崎 淳子さん
しらすき じゅんこ



SEATING DESIGNER / 作業療法士
野村 寿子さん
のむら ひさこ



となっていた同書の再版を求める声がそこかしこで挙がって来ることになる。

「その内容は今の日本にも必要と感じて、復刊するならば是非当社で考えました(白崎さん)。
増補新装版の出版にあたり、同書の装丁画に清野ミナさんの作品を採用した理由についても聞いた。

「本の装丁を決める時に、真っ先に浮かんだのが清野ミナさんの作品でした。素晴らしい作品をいかに多くの人の目に触れるようにしようかと考えた結果でもあります(白崎さん)。
野村寿子さんと清野ミナさんのコラボレーションを実現し、障がいのあるアーティストの作品をより多くの人に知って欲しい」と記して本稿の取材後記したい。

シーティングデザイナーとして活躍する野村寿子さんの著書「遊びを育てる」。この書籍の装丁画には障がいのあるアーティスト・清野ミナさんの作品が使われている——と、ここまでは本誌既刊でお伝えした通り。
ようやく今回、「遊びを育てる」の出版元である那須里山舎を取材する機会を得た。
同社は「ローカルな場所からローカルな価値を」という方針を掲げ、「遊びを育てる」の他にも、政治、経済、金融など多岐に渡るジャンルの書籍を刊行している出版社だ。
「遊びを育てる」の増補新装版を出版した経緯、装丁画に清野ミナさんの作品を採用した理由を那須里山舎の白崎淳子さんに聞いた。

取材/編集部



白崎夫妻

株式会社 那須里山舎
栃木県大田原市堀之内625-24
TEL / 0287-47-7620
<https://nasu-satoyamasya.com/>



出会いと動きがひろく子どもの世界
遊びを育てる
著者・野村寿子/佐々木正人
装画・清野ミナ
那須里山舎刊
ISBN978-4-909515-00-1
C3037 ¥2000E



amazon

アーティスト
清野ミナさん
せいのみな

障がいのあるアーティスト

Check



※M.O.V.E.プログラム/Mobility Opportunities Via Education / Experience の略で、「教育や経験を通して動く機会を保障する」という趣旨で作られた教育プログラムのこと



シリーズ 弁護士が教える「障がい者と法律」

障がい者と家族の法律問題

相続法改正の要点②
「自筆証書遺言」のルール



表参道パートナーズ法律事務所
弁護士／安部 晃平

1986年福岡県出身。2012年上智大学法科大学院修了。2013年弁護士登録。2016年より現職にて、中小・ベンチャー企業の労務管理、訴訟を中心に、各種企業法務を取り扱う。表参道パートナーズ法律事務所所属。

遺言書の作成ルールを知ろう
自筆証書遺言の作り方を解説

ある人が亡くなった場合、その人に相続人がいれば、相続人が亡くなった人の財産を相続します。誰がどのくらいの割合で相続するかについては、法律に定めがあります。

元々「財産」を持っていた人は、亡くなる前に「誰が何をどれくらいの割合で相続するかについて、自分の意思で自由に決めることができる」というのが、「遺言」と呼ばれるものです。

遺言の作成ルールについても法律に決まりがあり、よく利用される方式として、「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」があります。

自筆証書遺言は、遺言者が全て自書して作成す

る方式の遺言です。

最もシンプルな方式であるため、第三者の関与が必要なく作成しやすいというメリットがあります。

公正証書遺言は、公証人が作成する方式の遺言です。第三者である公証人が関与するため、様式不備によって無効になりにくいというメリットがある反面、遺言者一人で作成することができず、作成費用が発生するというデメリットがあります。

このうち、遺言者が一人で作成できるという意味で最も簡単な方式である自筆証書遺言について、作成ルールが改正されました。どのような点が改正されたかを理解するために、まずは改正前のルールについて確認しましょう。

自筆証書遺言を作るために必要な要素は次の4つです。

- 1 全文を自書すること
- 2 日付の記載
- 3 署名
- 4 押印



どのような紙に書いても良いですし、基本的にどのような内容を書いても大丈夫です。財産の分け方だけでなく、相続人への思いなど自由に書いて良いのです。

このうち、①の「全文を自書すること」が求められるのは、筆跡によって遺言者本人が書いたものであることを判定でき、遺言者の真意で書かれたものだとはいえるからです。そのため、パソコンなどの機器を使って作成したものは、「全文を自書すること」という要素を満たさないため無効とされます。

自書のルールが緩やかに
「財産目録」を活用しよう

前記のように、自筆証書遺言は、その作成ルールが簡単である反面、「全文を自書すること」という負担の大きさから利用が阻害されているとの指摘が従来よりなされていました。

そこで、自筆証書遺言をより使いやすいものとするために、その利用を促進する観点から、自筆証書にこれと一体のものとして相続財産の目録（「財産目録」といいます）を添付する場合には、その目録については自書を要しないこととされました。

財産目録については、パソコンなどの機器を利用して作成することができ、パソコンなどを遺言者自身が操作する必要はありません。また、相続財産の記載方法として、不動産登記情報や預貯金通帳のコピーを添付することもできます。

このルールの改正により、相続財産が多い場合などはパソコンなどで作成した財産目録を添付することによって、遺言作成の負担を軽減することが可能になりました。

特に、相続財産の中に区分所有のマンションがある場合、全階の床面積を含む1棟の建物の表示や専有部分の表示を記載しな



れば、遺言書をもって直ちに相続人にマンションの名義変更手続をすることができないため、その記載を財産目録の添付をもって代えることにより相当な負担の軽減につながります。実際にマンションの不動産登記を見てみるとその記載量の多さが分かると思います。

財産目録は、遺言本体と一体のものである必要がありますが、外見や内容から見て遺言としての一体性が分かれば良いのであって、必ずしも契印などが必要ではありません。具体的に、保管場所、保管方法、封入の方法や封印の有無などから判断されるでしょう。

もつとも、財産目録の記載内容が遺言者の真意によるものであることを担保するために、自書でないページの全てに署名押印することが必要となります。

また、遺言本体に記載が両面に亘る場合はその両面に署名押印が必要となります。

①全文の自書、②日付の記載、③署名、④押印が必要であることは、従来のルールと同様です。

このように、遺言の作成にはやや分かりにくい



こんなことでも相談していいの？
そんなことでも構いません。



ルールがあり、ルールに違反すると遺言が無効となることもあります。せっかく作成したのに効果が無くなってしまうと、慎重を期すためにも、作成方法で迷われた場合はぜひお近くの弁護士に相談してみてください。

法律相談を募集しています

読者の皆さんの「弁護士に相談したい」と、「障がいの当事者または家族であるが弁護士に聞いてみたい」ことなどを法律相談を募集しています。詳細は28ページにある「法律相談募集要項」を参照してください。

なお、相談の内容は、個人が特定できない形で回答とともに記事として掲載させていただく場合があります。また、全ての相談に対して回答できるものではないことを、予めご了承ください。

※本募集は一般財団法人メルディアが行うものであり、表参道パートナーズ法律事務所とは直接の関係はありません。



履歴書

令和元年9月1日現在

ふりがな 氏名	すずき たかこ 鈴木隆子	ローマ字表記 Takako Suzuki
生年月日	昭和28 (1953) 年 12 月 4 日生	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
出身地	群馬県桐生市	趣味 山歩き、温泉、旅行、読書
家族構成	本人、夫（長女、孫1人）	座右の銘 あきらめない/ノーマライゼーション/夢をカタチに 障害をもって生まれる子供たちは「人類進化の戦士たち」
役職・公職など	※役職などは取材時のものです 社会福祉法人すてっぷ・理事長、前橋市社会福祉審議会委員	



年	月	職歴
昭和51 (1976)		群馬県内の高等学校教諭（～昭和56年）
昭和61 (1986)		群馬県内の高等学校で非常勤講師（～平成3年）
昭和61 (1986)		群馬町おもちゃの図書館「きしゃぼんぼ」代表（～平成9年）
平成3 (1991)		「OPEN HOUSEすてっぷ」代表（～平成8年）
平成7 (1995)		「有限会社サンサンすてっぷ」代表取締役（～平成12年）
平成12 (2000)		「社会福祉法人すてっぷ」常務理事、「わーくはうすすてっぷ」施設長
平成21 (2009)		前橋市「みんなの店」運営委員会会長（～平成26年）
平成30 (2018)		「社会福祉法人すてっぷ」理事長
平成30 (2018)	4	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 医療福祉ジャーナリズム分野修士課程入学

※編注/ 職歴の一部を割愛させて頂きました

ひと
個人の「歴史」から探る障がい福祉

ひと

パーソナルヒストリー

第5回

社会福祉法人 すてっぷ／理事長
鈴木隆子さん

PERSONAL HISTORY

母親らのボランティア活動が後に福祉法人設立にまで至る

森 自身のお子さんに障がいがあったことが契機となつて、ボランティア活動を経て社会福祉法人の設立に至ったとか。

鈴木 障がいを持って生まれて来た長男が4歳で早逝したのですが、彼の存在があつてこそ後に「おもちゃの図書館」をボランティアで開設するきっかけにもなりました。

森 今でこそ同様の活動をしている団体は多いですが、30年以上前だと他には例がない活動だったと思います。

鈴木 近年になって唱えられている「ノーマライゼーション（※1）」という言葉ですら行政やマスコミが知らなかった時代でしたからね。

森 「レスパイトサービス（※2）」に関しても他に先駆けて開始したようですが。

鈴木 当時はまだ制度として存在していなかったサービスが先例が無い状態で立ち上げたので

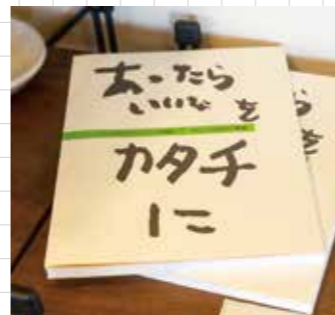


近代看護医療の改革を行ったナイチンゲールの言葉に「物事を始めるチャンスは私は逃さない 例えそれがマスタードの種のように小さな始まりでも やがて芽を出し 根を張ることがいくつもあるから」というのがあります。

障がいのある子どもたちとその母親や家族に向けたボランティア活動が始まりとなって、後年に社会福祉法人を作ったのが今回「PERSONAL HISTORY」の主人公となる社会福祉法人すてっぷの理事長・鈴木隆子さん。

鈴木さんたち母親らが起こした最初のムーブメントは小さな種でしたが、それが芽を吹き、やがて大きな根を張ることになりました。

鈴木さんの履歴を紐解きながら、初期の活動から現在に至るまでの「思い」を詳らかにしていきます。と思います。



※1・ノーマライゼーション/障害者の自立と社会参加を目指して 障害のある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指すという理念。
 ※2・レスパイトサービス/障がいのある人や高齢者などのケアをしている家族に代わって一時的にケアを代替する支援サービスのこと。レスパイトケアとも呼ばれる。



フローレンス・ナイチンゲール

価値ある事業とは、細やかで人知れぬ出発、地道な労苦、向上を目指す無言で地道な苦闘の風土で真に発展し開花する。

募集&告知

各種募集と告知

布施博または大矢真那が取材に向う「訪問先」を募集しています。また、当財団に対するご支援とご協力をお願いを掲載しています。

法律相談を募集 弁護士が相談を承ります

Recruitment

読者の皆さんや障がいの当事者またはご家族の人たちが弁護士に相談したい事、聞いてみたいことなどがありましたら当誌の事務局まで住所、氏名、連絡先、相談概要などをお送りください。本件の法律相談は無料で行います。

【必ずお読みください】

- ※応募に際しての記載事項などは個人情報保護の観点に則り、本件以外には一切使用いたしません。
- ※本誌に掲載させて頂く場合、個人を特定できない匿名の相談内容として記事にいたします。
- ※相談の受任可否についてはお答えすることができません。
- ※全ての相談に対して回答するものではありません。

氏名、連絡先、相談概要などを以下に記載の住所またはメールアドレスまでお送りください。

■応募先/郵送の場合

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア事務局/法律相談係 宛て

■応募先/Eメール

MAIL:org@gf-meldia.com
※件名(Subject:)に必ず「法律相談」とご記入ください

月刊MELDIA常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「月刊MELDIA（以下、本誌）」の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所のご提供をお願いしています。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

月刊MELDIA定期購読希望者募集

「月刊MELDIA」はフリーペーパーです。お近くに設置拠点がなく入手が困難な場合や、定期購読をご希望の場合に送料無料で発送しています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。

※定期購読の場合、発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼して全国に発送しています。

一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦労や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦労、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となれることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援（取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付）など、当財団の趣旨に賛同してご協力を頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局/担当:後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか) 宛て
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com



ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん！ Facebook ページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



PERSONAL HISTORY

社会福祉法人すてっぷ 鈴木隆子

PERSONAL HISTORY



不安がありました。でも、たまたま新聞記事で他にも同じサービスを提供している団体が全国に4ヶ所あるのを知って、「他にも仲間がいる」と嬉しく思いました。すぐに連絡を取ってその人たちに会いに行ってみました(笑)

森 行動力がありますね。海外の視察にも何度か行っているようですが。

鈴木 「ノーマライゼーション発祥の地」と言われるデンマークとスウェーデンの視察に行きました。本当の意味でのノーマライゼーションが社会の中で当たり前のように実現されているのを目の当たりにできたことが、自分たちの活動を続ける支えになりました。それによって、「いつか日本でもノーマライゼーションが実現できるはずだ」と確信しました。

森 これまでの活動の中で、「行政に対して各種の福祉サービスを制度化するよう訴えた」こともあると聞いています。

鈴木 「レスパイトサービス」と「放課後クラブ」の制度化を行政に求める活動を行いました。障がいのある子どもを持つご家族や関係者と一緒署名活動をしたり、その頃に同じ事業を始めていた群馬県内の団体と協議会を作って、制度化の必要性を行政に訴えたんです。その成果、群馬県の「県単事業（地方単



取材&文/森清香

独事業」として新しい制度を作ることができ、補助金が支給されるようになりました。

森 「障がいの当事者とその家族が望むことは何か？」と考えて来た結果が、これまでの活動や施設の運営であったりするわけですね。

鈴木 障がい当事者の暮らし、そのご家族の生活、それらをノーマライズするために必要な支援やサービス展開を行って来ました。それが現在の「すてっぷ」の姿になったのだらうと思います。

森 私が女性だから余計にそう感じるのかもしれませんが、全てにおいて障がいのある子どもを育てているお母さんたちに対して強く訴求するメッセージのような「何か」があるように感じます。

鈴木 「障がいのある子どもを産んだ」と、謂われなく周囲に非難をされたり、根拠なく中傷を受けたりするお母さんもいるんですね。それで、「子どもに対して申し訳ない」だとか、自身を強く呵責する人がいます。それだけではなく、障がいのある子どもの育児に関して悩んでいる人も多くいます。そのお母さんたちの労苦や苦悩を少しでも軽減してあげた



社会福祉法人 すてっぷ
群馬県前橋市東上野町136-1
TEL / 027-290-6161
<https://s-step.com/>



取材・文/森清香

という気持ちで根底にありました。それが初期の「レスパイトサービス」の提供や「放課後クラブ」の運営に繋がって行ったのかもしれない。

森 自身のお子さんに障がいがあったという一連の動機になっていますか？

鈴木 それもあります。障がいのある子どもを持つお母さんの気持ちを私自身が理解できたことが大きいですね。

森 最後に、これからの展開や展望などを聞かせてください。

鈴木 これまでにも、先進的な取り組みなどを行っている団体や事業所があれば、自ら進んで出かけて話を聞いたりして来ました。この先も、地域や社会、そして利用者とその家族のニーズにいかに対応していくかを弛まずに模索し続けて行きたいと思っています。



湘南ベルマーレ

ホームゲーム観戦チケットプレゼント



©湘南ベルマーレ

■ホームゲーム一覧

療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳をお持ち
の方と、介添者の方1
名を湘南ベルマーレの
ホームゲームに抽選で
ご招待いたします！

開催日	キックオフ	対戦相手	申込メ切
11/3 (日祝)	16:00	ガンバ大阪	10/20 (日)
11/30 (土)	14:00	サンフレッチェ広島	11/16 (土)

■応募から観戦までのステップ

STEP 1

応募

HPの応募フォームへ
必要事項をご入力



応募フォーム
はこちら

<https://meldia.org/present/>

ホームページからも応募できます
財団 メルディア 🔍 検索

STEP 2

メール

応募完了メールが
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方は「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話ください。よろしくお願いいたします。

STEP 3

抽選

当選者へチケットを
お送りします

当選者の方へ当選メールを送信後、応募フォームにご入力頂いた住所宛にチケットをお送りいたします。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP 4

観戦

スタジアムへGO!

チケットに記載のゲートよりご入場ください。どうぞご観戦をお楽しみください！



※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HP をご覧ください



JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南 I.C. より湘南銀河大橋、国道 129 号線経由で約 15 分 (国道 129 号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

■お問い合わせ先■

〒243-0292 神奈川県平塚市
一般財団法人メルディア 事務局 担当：後藤・鷺坂
TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日～金曜日 9:30～18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承ください。

23 MELDIA CONTENTS 2019 NOV.

- 01| 障がい者を応援
ゆめファーム/千葉県流山市
- 06| 一般財団法人メルディアとは?
メルディアの基本理念、財団概要、支援事業
- 07| 布施博が訊く
社会福祉法人すてつぷ/群馬県前橋市
- 11| MELDIA Café #4
第4回 MELDIA Café開催詳報
- 15| 水越けいこ連載「M size / はじまり」
水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る
- 17| 社会福祉法人探訪
一般社団法人 徳栄会/栃木県足利市
- 21| 遊びを育てる
那須里山舎/栃木県大田原市
- 23| 弁護士が教える「障がい者と法律」
表参道パートナーズ法律事務所/弁護士・安部晃平
- 25| ひと - PERSONAL HISTORY -
社会福祉法人すてつぷ・鈴木隆子さん
- 28| 募集と告知
各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

月刊 MELDIA Vol.23 / 2019年9月25日発行
発行元 / 一般財団法人メルディア事務局
発行人 / 小池信三
事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章
編集 / 株式会社 サン・オフィス
編集人 / 東宮恵美
編集長 / 山口慎市
進行 / 東宮恵美、山口慎市、谷田貝亘介
編集部 / 東宮恵美、村田保則、渡邊希望
ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、安部晃平、横関寿寛、大橋はるか、森清香、山口慎市
カメラマン / 吉岡晋 (PMJ)
ヘアメイク / 関谷佳代子 (Dharma)、株式会社Dharma
デザイン / 有限会社 フレッシュ・アド
印刷製本 / QREAS株式会社
協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、株式会社パソナハートフル、ゆめファーム、社会福祉法人すてつぷ、わくわくはうすてつぷ、社会福祉法人徳栄会、わくわく、カネトモ、有限会社瀬谷新聞店、株式会社那須里山舎、表参道パートナーズ法律事務所、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、株式会社PHOTO MIO JAPAN、株式会社Dharma

※敬称略/順不同

本誌の無断転載・複製を禁じます
2017-2019©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア/月刊 MELDIA
MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / 株式会社 サン・オフィス



次号予告

MELDIA VOL.24

2019年10月25日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632
東京都新宿区西新宿 1-25-1
新宿センタービル 32F
一般財団法人メルディア 事務局
TEL: 03-5381-3213
MAIL: org@gf-meldia.com

